

JB MIA フォーラム 発表資料

【学校と家庭のコミュニケーション実態調査】

～コミュニケーションツールとしての、紙・Web・SNS/メール 使い分け実態について～
“印刷された紙のコミュニケーションツールとしての活用と目的・方法を発見する”

2021年7月9日
JB MIA デジタル印刷機部会
Digital Duplicator Group

目次

1. デジタル印刷機部会のご紹介
2. 学校を取り巻く環境の変化
3. 「学校と家庭のコミュニケーション実態調査」に至った仮説
4. 調査目的
5. 調査概要
6. 第1回調査結果（2020年1月下旬実施）
7. 第2回調査結果（2020年11月中旬実施）
8. 「学校と家庭のコミュニケーション実態調査」調査結果（総括）

1. デジタル印刷機部会のご紹介

当部会は、1960年協会設立と同時に「謄写機部会」として発足しました。その後、事務用オフセット部会との発展的統合を経て、製品のデジタル化の進展により、1999年に部会名称を「謄写機・オフセット部会」から「デジタル印刷機部会」に改め現在に至っています。

◆活動内容

1. 国内外の市場動向調査
2. 国内外の標準/環境規制に対する対応
3. 用語、仕様書様式及び性能試験方法の標準化活用 (JBMS)
4. デジタル印刷機の普及促進活動

◆参加企業 ※正会員 正会員グループ企業

- ・株式会社デュプロ ・株式会社リコー ・理想科学工業株式会社
- ・デュプロ精工株式会社
- ・リコージャパン株式会社 ・リコーテクノロジーズ株式会社

Duplo

RICOH

RISO

◆部会活動体制



◆最近の活動

- ・月刊「子供の科学」デジタル印刷機についての紹介記事vol.1～3掲載
- ・部会HPリニューアル ・デジタル印刷機顧客満足度調査



2. 学校を取り巻く環境の変化



・デジタル印刷機は、紙によるコミュニケーションが必要な世界の教育の現場・企業・団体・コミュニティにおいてお使いいただいております

エコ、環境、紙は環境に悪いのか？
⇒製紙会社工場見学
「安定した需要が林業の支えになる(森のリサイクル)」
「持続可能な森林経営が行われなくてはならない」
「森林資源を利用することは、必ずしも環境保全に反するわけではない..紙を使うことで森林保全につながる...ということを理解した



デジタル印刷機
Digital Duplicator
我々の業界がこれからも
世界に貢献するためには...

低ランニングコスト！



スピード！

デジタル印刷機の特長は、大量印刷時の圧倒的なスピード、低ランニングコスト、耐久性、消費電力が少ない...カンタンで早く、安く大量印刷が出来る

・大規模災害の際の情報伝達手段としても紙(ペーパーコミュニケーション)は重要であった



～コミュニケーションツールとしての、紙・Web・SNS/メール 使い分け実態について～
“印刷された紙のコミュニケーションツールとしての活用と目的・方法を発見する”

省エネ！



教育現場においても、PC・タブレットの普及で紙はなくなると言われているが...本当！？



・GIGAスクール構想、DX、脱ハンコ、働き方改革、テレワーク...
・オンライン授業

ペーパーレス化が一挙に進む！？

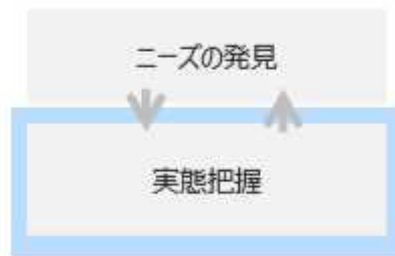
3.「学校と家庭のコミュニケーション実態調査」に至った仮説

- 現在、教育現場では、PCやタブレットなどデジタル機器の導入が進み、教育現場での紙の使用量が減少している。これにともない、学校と家庭とのコミュニケーションツールも紙からデジタル機器へとシフトしている可能性があるのではないかな？
- デジタル機器によるコミュニケーションは、即時性、手軽さに優れる一方、コミュニケーションの希薄化はないかな？
- 紙によるコミュニケーションは情報の量や一覧性など、デジタル機器にない特徴を持つため、より深いコミュニケーションに役立つツールとして紙のニーズがあるのではないかな？
- コロナ禍を経験した現在、心境の変化はあったのか？
(※追加調査)



4. 調査目的

1. 学校市場を取り巻くデジタル革新をはじめとするICT進展において、配信手法（学校側）の変化、それを受け取る受信者（保護者側）はどのような感想を持っているか？ また、ペーパーコミュニケーション、紙媒体に対してはどのような感想を持たれているか？ を調査する。調査で明らかにしたいことは大きく以下の2つ。
 - ①学校と家庭のコミュニケーション手段（紙・Web・メール配信）の使い分け実態を確認する
 - ②発信する側（学校）、受けとる側（家庭）にとっての有効なツールを把握し、印刷された紙のコミュニケーションツールとしての活用目的・方法を発見する。



2. コロナ感染拡大（第一波）『緊急事態宣言』を経験した、コロナ禍前後においても気持ちや感想に変化はなかったのか？また、情報発信される頻度の変化についても追加調査を実施する。

※紙への印字手法・出力機器については、今回アンケート対象者では判別が出来ないため、今回の調査では確認していません。（手書き・印刷機・LBP・MFP・IJ他）

5. 調査概要

	第1回調査（2020年1月）	第2回調査（2020年11月）
■ 調査実施機関	■ 株式会社マクロミル	■ 株式会社マクロミル
■ 調査目的	■ 調査で明らかにすることは大きく以下の2つ ・学校と家庭のコミュニケーション手段（紙・Web・メール配信）の使い分け実態とその頻度を確認 ・発信する側（学校、塾）、受けとる側（家庭）にとつての有効なツールを把握し、印刷された紙のコミュニケーションツールとしての活用目的・方法を発見する	■ コロナ禍において、学校と家庭のコミュニケーション手段（紙・Web・メール配信）に変化はあったのかを確認する
■ 調査対象	■ マクロミルモニタ 女性25～59歳	■ マクロミルモニタ 女性25～59歳
■ 調査地域	■ 全国	■ 全国
■ 調査方法	■ インターネットリサーチ	■ インターネットリサーチ
■ 調査時期	■ 【事前調査】2020年1月28日（火）～1月29日（水） ■ 【本調査】2020年1月30日（木）～2月3日（月）	■ 【事前調査】2020年11月12日（木）～11月13日（金） ■ 【本調査】2020年11月13日（金）～11月14日（土）
■ 有効回答数	■ 【事前調査】20,000サンプル ■ 【本調査】1,000サンプル	■ 【事前調査】20,000サンプル ■ 【本調査】1,030サンプル
■ 割付	■ 同居している小学生～高校生の子がいる方 ・小学1～2年・小学3～4年・小学5～6年・中学生・高校生 ※男女各：100サンプル 合計：1,000サンプル	■ 同居している小学生～高校生の子がいる方 ・小学1～2年・小学3～4年・小学5～6年・中学生・高校生 ※男女各103サンプル 合計：1,030サンプル

5. 第一回調査概要

- 調査対象： マクロミルモニタ 女性25～59歳
- 調査地域： 全国
- 調査方法： インターネットリサーチ
- 調査時期： 【事前調査】2020年1月28日(火)～1月29日(水)

【本調査】2020年1月30日(木)～2月3日(月)

- 有効回答数：【事前調査】20,000サンプル

【本調査】1,000サンプル

- 割付 同居している小学生～高校生の子がいる方

	計	小学1～2年	小学3～4年	小学5～6年	中学生	高校生 (高専生含む)
男児	500	100	100	100	100	100
女児	500	100	100	100	100	100

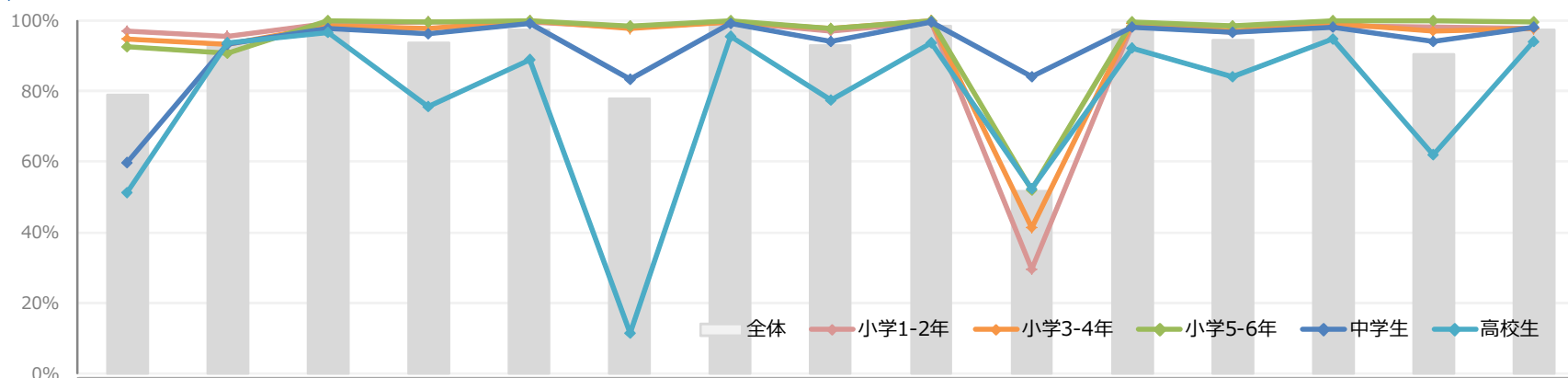
- 調査実施機関：株式会社マクロミル
- 備考：
 - ・n=30未満は参考値として掲載
 - ・数表には以下のハッチングを実施(n=30以上のみ)

6. 第一回調査結果

①-1 学校からの連絡やお知らせの確認有無

- 学業・成績や学校生活に直接関わる「通知表」「年間スケジュール」「お便り」「イベントのお知らせ」は学齢を問わず確認されている。(下表**赤枠**)
- 一方、「宿題」が中学生を境に、「月間スケジュール」「イベントのしおり」等は高校生を境に確認の度合いが低下。(下表**青枠**)

※全体ベース



		宿題	通知表・通信簿	年間スケジュール	月間スケジュール	お便り	給食の献立表	イベントのお知らせ	イベントのしおり	面談や家庭訪問	部活動	緊急連絡	PTA関連	申し込み書	保健だより	集金・支払い
n=																
全体	(1030)	79.1	93.3	98.3	93.7	97.5	77.9	98.7	92.8	98.5	51.8	97.5	94.6	98.1	90.3	97.4
小学1-2年	(206)	97.1	95.6	99.0	99.5	99.5	98.1	99.5	97.1	99.5	29.6	98.5	96.6	98.5	98.1	97.6
小学3-4年	(206)	94.7	93.2	98.5	97.6	100.0	97.6	99.5	97.6	100.0	41.3	99.0	97.1	99.0	97.1	97.6
小学5-6年	(206)	92.7	90.8	100.0	99.5	100.0	98.5	100.0	97.6	100.0	51.9	99.5	98.5	100.0	100.0	99.5
中学生	(206)	59.7	93.2	97.6	96.1	99.0	83.5	99.0	94.2	99.5	84.0	98.1	96.6	98.1	94.2	98.1
高校生	(206)	51.5	93.7	96.6	75.7	88.8	11.7	95.6	77.7	93.7	52.4	92.2	84.0	94.7	62.1	94.2

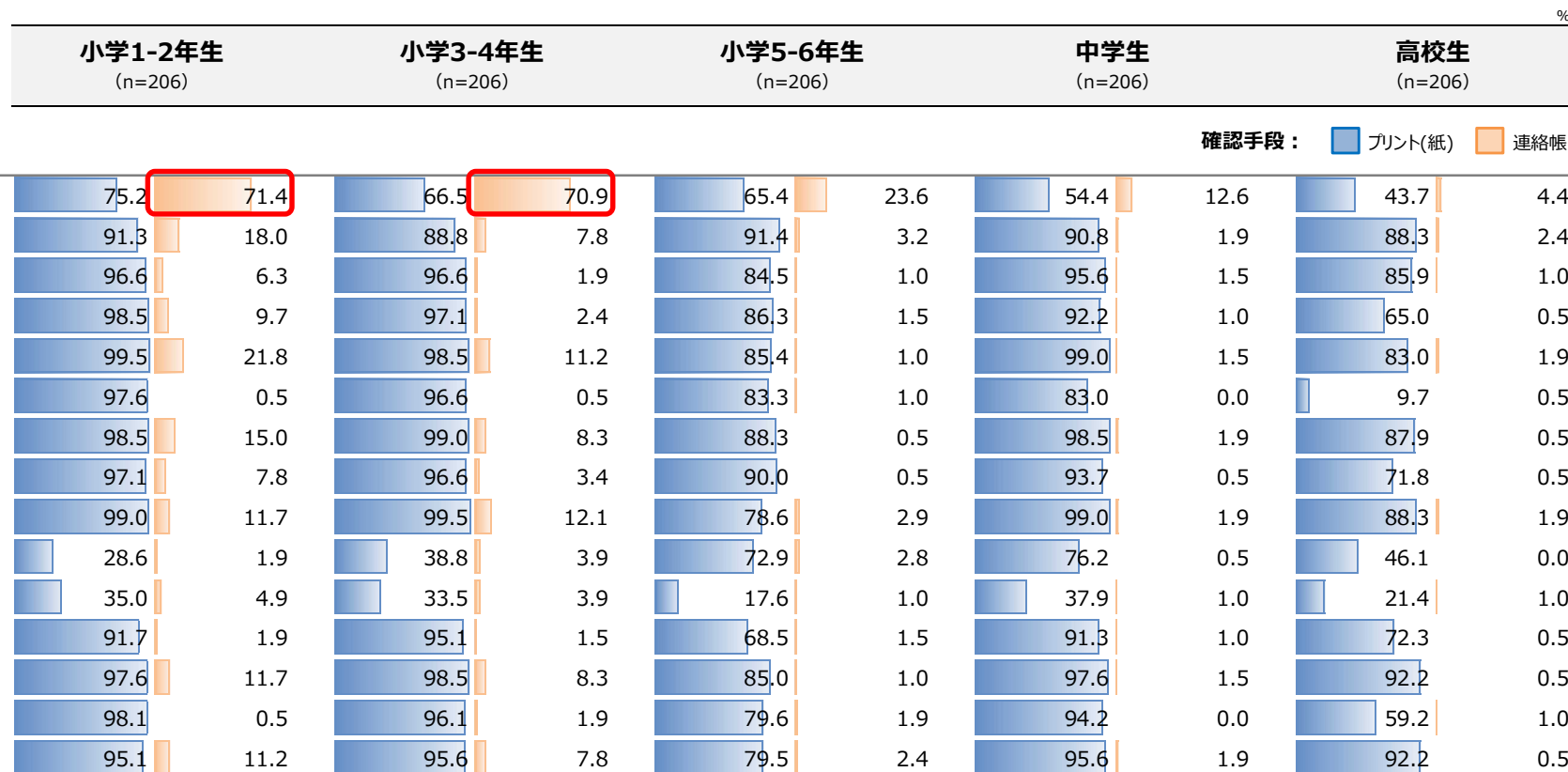
Q3. お子さま(第一子)が通う学校からの連絡やお知らせについて、あなたが確認するときに使っているものをすべてお選びください。

6. 第一回調査結果

①-2 学校からの連絡やお知らせの確認有無(■ プリント(紙) ■ 連絡帳)

- 学校からの連絡やお知らせは、学齢を問わず「プリント(紙)」を通して確認するものが多い。
なお、「宿題」は「小学3-4年生」までは、「連絡帳」を通して確認されている。
- 一方、「緊急連絡」は他の連絡事項に比べると「プリント(紙)」で確認するケースが少ない。

※全体ベース



Q3.お子さま(第一子)が通う学校からの連絡やお知らせについて、あなたが確認するときに使っているものをすべてお選びください。

6. 第一回調査結果

①-3 学校からの連絡やお知らせの確認有無(■ メール・SNS ■ 学校HP ■ アプリ・サービス)

- 「メール・SNS」は「緊急連絡」での確認が多い。また、「PTA関連」でもメール・SNSがやや高い結果に。
- 「学校HP」は中学生・高校生で「年間・月間スケジュール」の確認で利用が高め。
- 「アプリ・サービス」はメール・SNSの伏線なのか「緊急連絡」を確認する際に利用されている様子。

※全体ベース

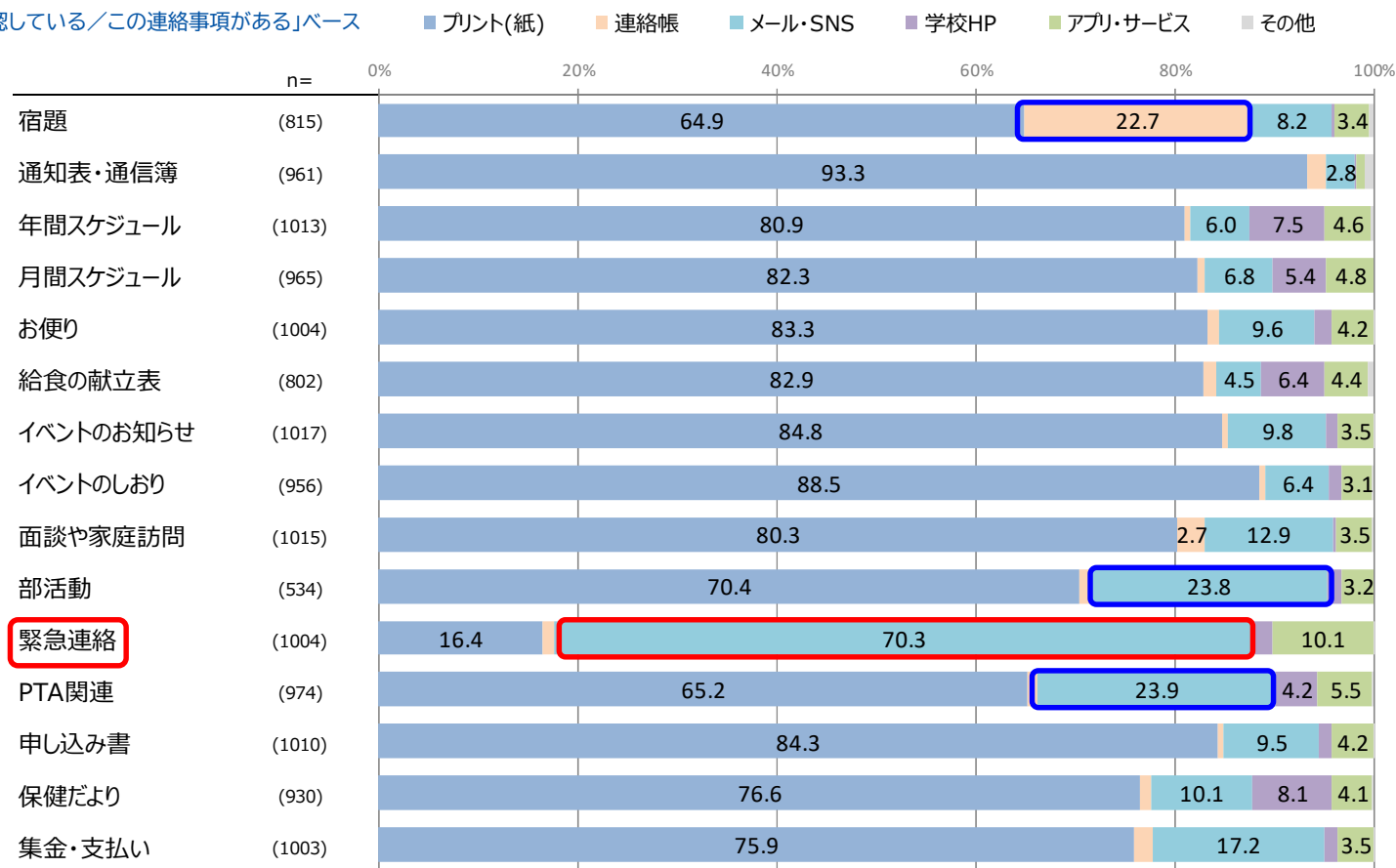
小学1-2年生 (n=206)			小学3-4年生 (n=206)			小学5-6年生 (n=206)			中学生 (n=206)			高校生 (n=206)			%		
確認手段：															メール・SNS	学校HP	アプリ・サービス
4.9	0.5	1.9	4.4	0.5	1.9	6.3	1.9	1.9	5.8	1.5	1.0	10.2	2.9	5.3			
0.5	0.5					0.5	1.0		0.5			4.9		3.4			
1.0	12.1	1.0	1.0	13.1	0.5	1.9	12.1	0.5	3.4	16.0	1.5	7.3	20.9	4.4			
1.9	4.4	0.5	0.5	4.9		1.9	6.8	0.5	2.9	9.2	1.5	7.3	15.0	3.9			
7.8	2.4	1.0	5.8	3.4	2.4	6.8	3.4	1.5	9.7	4.9	2.9	14.6	5.8	7.8			
	1.5	0.5		1.5		0.5	2.9		1.0	2.9	1.5	0.5	1.5				
7.8	6.8	2.9	7.3	4.9	1.5	12.1	4.4	1.9	9.7	7.8	3.4	14.6	10.7	7.8			
2.4	2.4	1.5	1.9	1.5		1.9	2.4	1.0	4.4	2.9	1.5	7.3	7.3	4.4			
1.5	1.0	0.5		1.0		2.4	0.5	1.0	2.4	0.5	1.0	7.3	1.0	2.9			
1.5	0.5		1.9	0.5	0.5	5.8		0.5	19.9	2.4	1.9	13.1	1.0	0.5			
78.6	7.8	14.1	83.0	2.9	15.5	83.0	8.3	8.7	75.2	13.6	12.1	60.7	17.0	18.0			
19.4	1.9	3.4	19.4	1.5	3.9	27.7	2.4	1.5	20.9	3.9	3.9	20.9	4.9	3.9			
1.0	0.5	1.9	1.9		4.4	1.9	1.0	5.3	1.9	1.9	4.4	6.8	2.4	4.9			
0.5			1.5	1.0		1.0	1.0	0.5	1.0	1.0		1.9	1.5	1.9			
6.3	0.5	2.4	4.4	1.0	1.0	4.9		1.0	9.2	1.5	3.9	11.2	0.5	2.4			

6. 第一回調査結果

②希望する確認手段(プリント(紙) 連絡帳 メール・SNS 学校HP アプリ・サービス その他)

- 希望する確認手段は「プリント(紙)」が多いが、「緊急連絡」では「メール・SNS」が7割を占める。
- また、一部で「宿題」は「連絡帳」、「部活動」「PTA関連」では「メール・SNS」も挙げられる。

※全体・「確認している／この連絡事項がある」ベース



※2%未満非表示

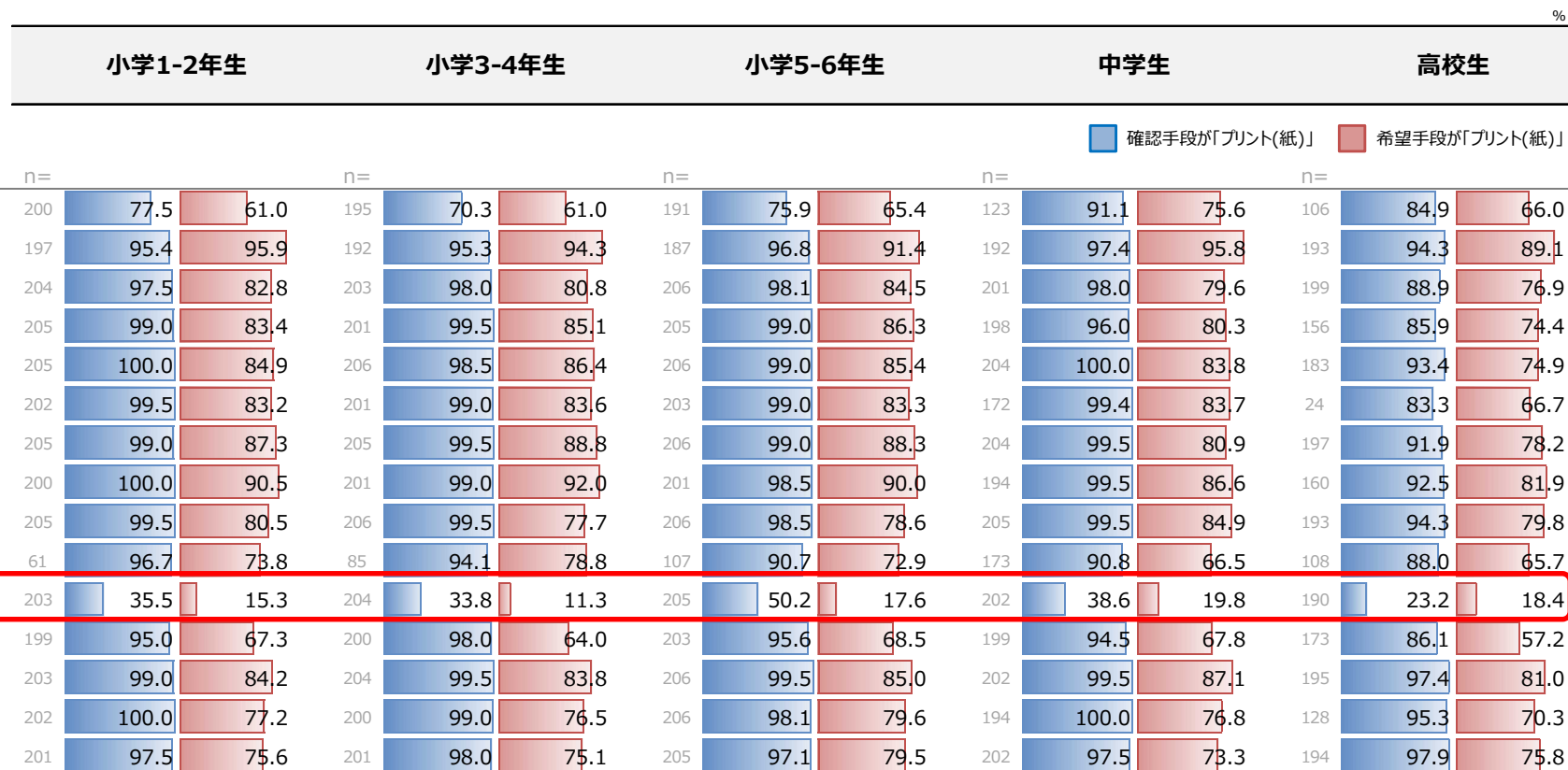
Q4.あなたは学校からの連絡やお知らせを、どのようにして確認したいと思いますか。以下のそれぞれについて、お気持ちに最も近いものをお選びください。

6. 第一回調査結果

③現在の確認手段と希望する確認手段ープリント(紙)

- 「プリント(紙)」についてはほぼ、現在の確認手段＝希望する確認手段。
- 「緊急連絡」については、現状「プリント(紙)」でも確認しているものの、希望する手段ではない模様。

※「確認している／この連絡事項がある」ベース



Q3.お子さま(第一子)が通う学校からの連絡やお知らせについて、あなたが確認するときに使っているものをすべてお選びください。

Q4.あなたは学校からの連絡やお知らせを、どのようにして確認したいと思いますか。以下のそれぞれについて、お気持ちに最も近いものをお選びください。

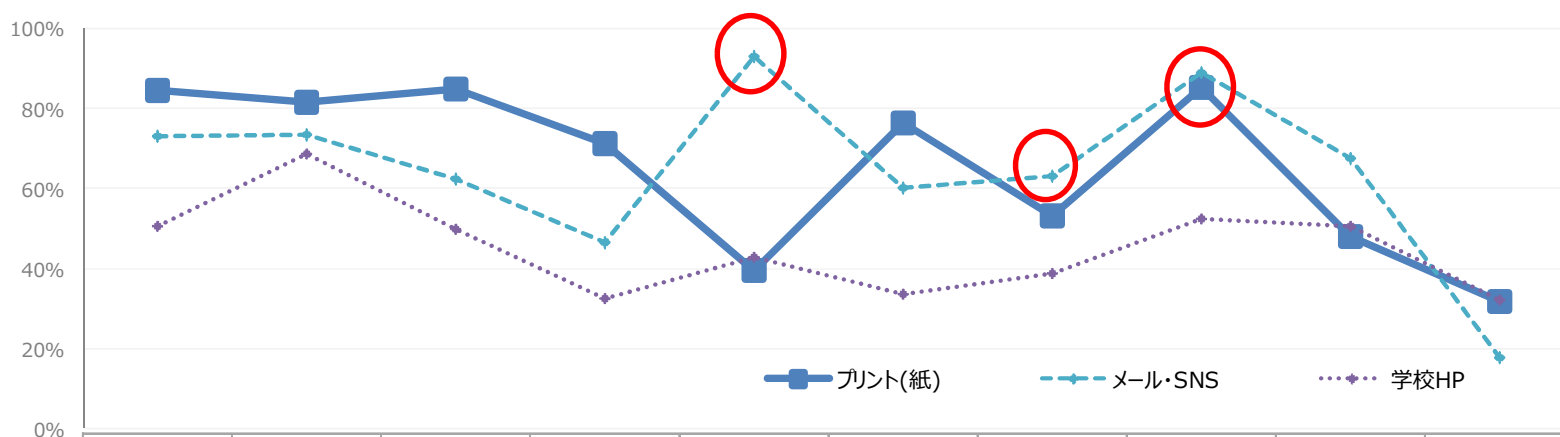
6. 第一回調査結果

④コミュニケーションツールの印象・実感

- 「プリント(紙)」は記載内容の「わかりやすさ」「正確さ」「詳細であること」「記憶に残りやすい」「保存しやすい」点で他ツールよりも優れる。一方、「速報性・タイムリー性」「確実に届く」「確認のしやすさ」では「メール・SNS」に劣る。

TOP2スコア:「とてもそう思う」+「そう思う」

※全体・「確認している／この連絡事項がある」ベース



		ぱっと見て内容がわかる	記載されている内容が正確である	詳しい内容がわかる	内容が記憶に残りやすい	速報性がある・情報がタイムリーである	取り置き・保存しやすい	確実に届く印象がある	手軽に確認できる	保護者間などほかの人と共有しやすい	紙※でなくてもよいと感じることが多い
n=											
プリント(紙)	(1027)	84.6	81.5	84.8	71.3	39.7	76.2	53.3	85.3	48.1	31.8
メール・SNS	(830)	73.1	73.3	62.4	46.7	92.9	60.0	63.3	89.0	67.6	17.7
学校HP	(269)	50.6	68.8	49.8	32.7	42.8	33.8	38.7	52.4	50.6	32.3

※それぞれ「紙」「メール」「学校HP」

Q5.学校からの連絡やお知らせが「プリント(紙)」で届くものについて、おうかがいします。「プリント(紙)」で届く場合、以下についてどのように感じていますか。お気持ちに近いものをお選びください。

Q6.学校からの連絡やお知らせが「メール(LINE・TwitterなどのSNS含む)」で届くものについて、おうかがいします。「メール」で届く場合、以下についてどのように感じていますか。お気持ちに近いものをお選びください。

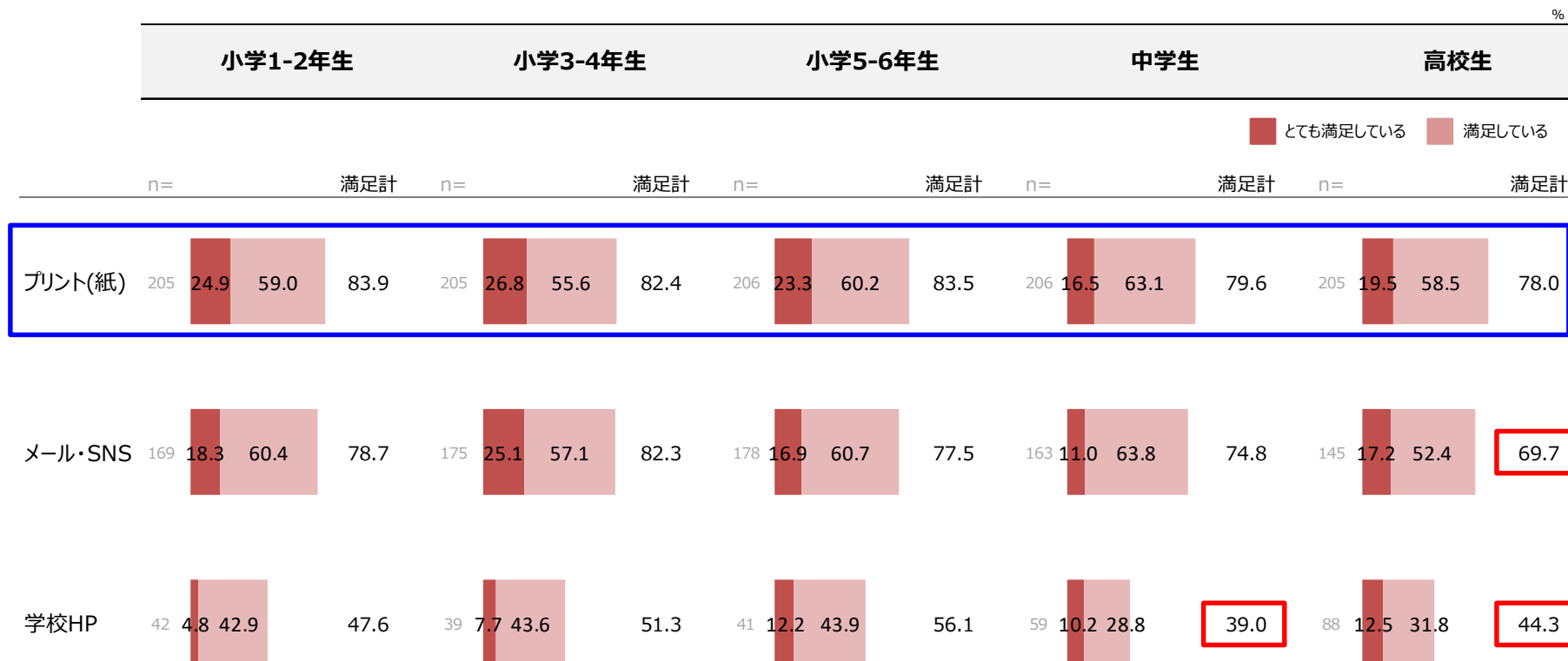
Q7.学校からの連絡やお知らせが「学校のホームページ」で共有されるものについて、おうかがいします。「学校のホームページ」で共有される場合、以下についてどのように感じていますか。お気持ちに近いものをお選びください。

6. 第一回調査結果

⑤コミュニケーションツールの満足度

- 「プリント(紙)」の満足度(満足計)は、学齢を問わず8割前後と高い。また、「メール・SNS」は高校生で「プリント(紙)」とスコア差がみられる。なお、「学校HP」は中学生を境にスコアダウンし、中・高校生では4割前後。

※「確認している／この連絡事項がある」ベース



Q8.学校からの連絡やお知らせが、「プリント(紙)」「メール」「学校のホームページ」で届くことについておうかがいします。それぞれの連絡方法について、総合的にどのように感じていますか。お気持ちに近いものをお選びください。

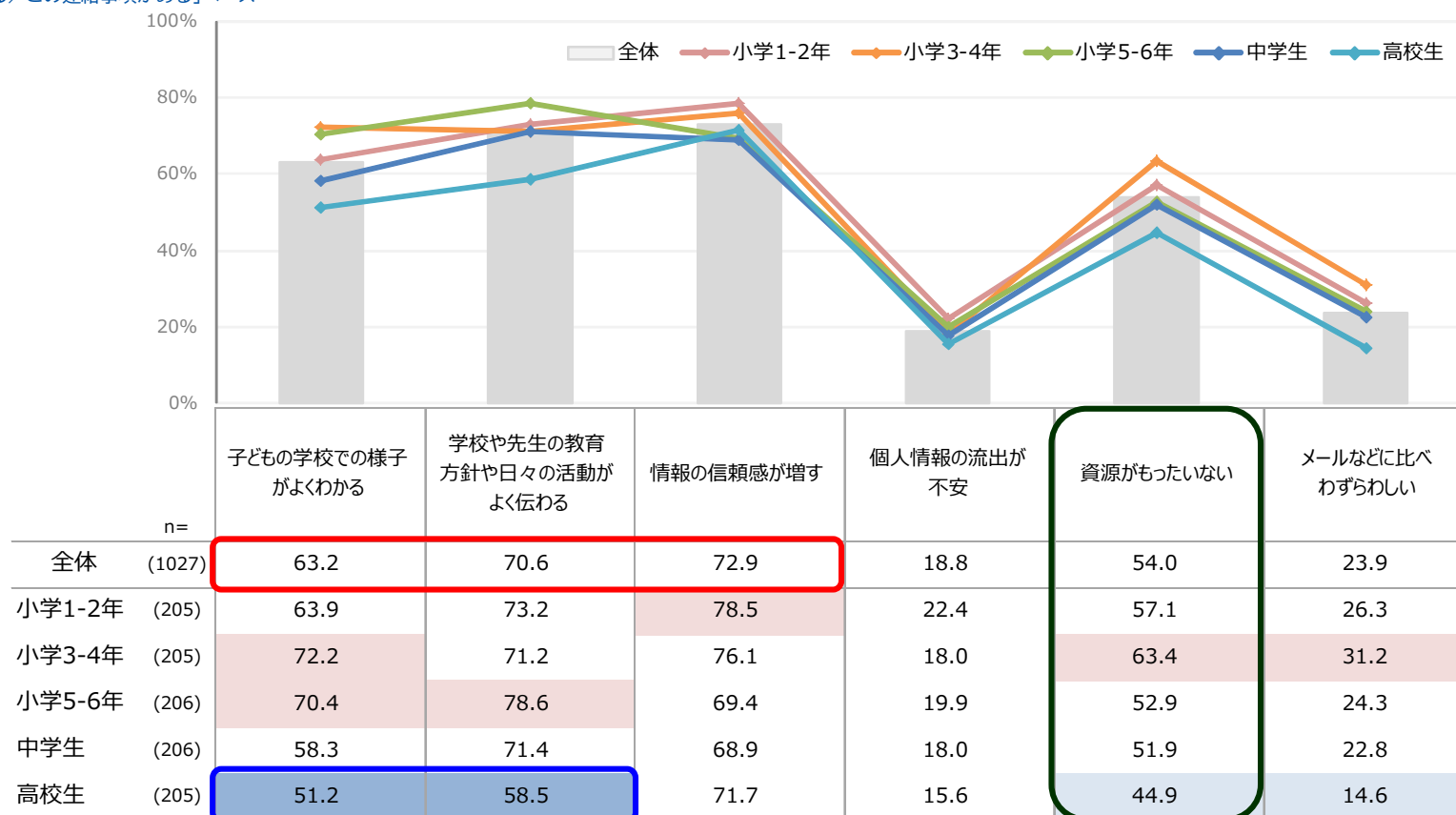
6. 第一回調査結果

⑥学校連絡やお知らせがプリント(紙)で届くことについて

- 「プリント(紙)」の良さは、「情報の信頼感が増す」、「子どもの学校での様子がよくわかる」、「教育方針や日々の活動がよく伝わる」こと。なお、「学校での様子」「教育方針や日々の活動」は高校生で低下する。
- 一方、「資源がもったいない」も半数前後みられる。

※「確認している／この連絡事項がある」ベース

TOP2スコア:「とてもそう思う」+「そう思う」



Q12.学校からの連絡やお知らせが「プリント(紙)」で届くことについて、どのように感じていますか。以下のそれぞれについて、お気持ちに近いものをお選びください。

6. 第一回調査結果

⑦プリント(紙)のメリット・デメリット

- メリットは、「親子で会話できる」「目を通そうと思う」「間違えて消すことがない」「写メで保存できる」など。
- デメリットは、「子どもが渡さない」「外から確認できない」「兄弟で重複する」「捨てるタイミングがわからない」など。

	メリット	デメリット
小学1-2年	➢ <u>子どもが自分から出すため自主性が育つ。</u> ➢ 子供達の写真を載せてくれるので、学校での様子を知ることができる。 ➢ いつでもすぐに確認できる。冷蔵庫に貼って保存しやすい。 ➢ 重要なプリントのみピックアップして保存出来る。	➢ <u>子供が渡さないと連絡確認できない。</u> ➢ 子供が持ってくる時にランドセルの中でグチャグチャになってる事が多々ある。 ➢ 文字が多いのでどこが重要かわからない。 ➢ プリントを無くすと再確認出来なくなる。 ➢ 毎日のように来るので、紙を捨てるのが大変です。
小学3-4年	➢ 子供が持ち帰ってくるので確認する際に連絡帳なども見てその際に<u>子供と学校について話す機会がある。</u> ➢ 手渡されることで、記憶に残りやすい。 ➢ その日の連絡事項がすぐ届く。 ➢ アプリのメールなどと違い、気づかないことがないので。	➢ 子供が渡さない事が多いから、凄く困るし腹立たしい。 ➢ 何枚もあると管理が大変。提出期限がある物などが、埋もれがち。 ➢ <u>持ち歩きが出来ないので、外で急に確認したいとなった時にはこまる</u> ➢ ゴミをからすが荒らしたりなどして散乱したときに近所の人に見られたりしたらすぐ困る。
小学5-6年	➢ <u>子どもがプリントを親に必ず提出するという習慣が身につく。</u> ➢ 担任の作る学級通信は手作り感があり、もらうとうれしい。 ➢ 読んだ後も忘れないように目につく場所に置いておける。 ➢ 自分で写メをとって携帯電話での保管ができる。	➢ <u>捨てるタイミングがわからない。</u> ➢ 大事な手紙と分けるのが面倒。 ➢ 休んだときは情報が遅れる。 ➢ <u>兄弟で重複すること。</u> ➢ とにかく枚数が多いので漏れやすい。
中学生	➢ 昔から紙だから信頼性がある。<u>子供と共有して話し合える。</u> ➢ 紙の大きさやデザインなどで印象に残る。 ➢ 何度も読んで確認出来る。 ➢ <u>間違えて消すことがない。</u>	➢ 部屋のボードが掲示物だらけになる。 ➢ わざわざプリントにしなくてもいいと思うものも多い。 ➢ 子供が渡してくれないと情報が入ってこない。緊急のときは不向きだと思う。 ➢ 兄弟で同じものを別々に出されると、どちらで提出したかわからなくなる。
高校生	➢ プリントの内容について<u>親子で会話できる。</u> ➢ ちゃんと目を通さなきゃ！って思う。 ➢ 重要性がありそうなので、頭に入りやすい。 ➢ 早い時期に連絡があった場合、しばらく保存しておく。 ➢ <u>気軽に見る事ができる。写メに撮れば、スマホでも確認できる。</u>	➢ <u>いつ破棄していいかわからないときがある。</u> ➢ 確実に届かない時もある。 ➢ 速報性に欠ける。 ➢ 紙の資源の無駄づかい。

Q9.学校からの連絡やお知らせが、「プリント(紙)」で届くことについておうかがいします。あなたが感じる「プリント(紙)」ならではのメリット/デメリットをご記入ください。

6. 第一回調査結果(まとめ)

利用実態・ツール評価

- ☑ 学齢問わず、学校からの連絡事項の大半はプリント(紙)で確認されている。緊急連絡についてのみ、「メール・SNS」が主体。なお、「部活動」や「PTA関連」は一部「メール・SNS」を希望する声もある。
- ☑ 「プリント(紙)」の優位性は、記載内容の「わかりやすさ」「記憶への残りやすさ」「正確さ」「詳細であること」「保存しやすい」こと。また、「確実に届く」「共有しやすい」は中学生以上を境にスコアダウンする。なお、「速報性・タイムリー性」は「メール・SNS」に大きく劣る点。

プリント(紙)の役割・メリットとデメリット

- ☑ プリント(紙)の良さは、「子どもの学校での様子がよくわかる」「教育方針や日々の活動がよく伝わる」こと。メリットに挙げたことには、「親子で会話できる」「目を通そうと思う」「間違えて消すことがない」「写メで保存できる」など。
- ☑ プリント(紙)の懸念のひとつは、「資源がもったいない」こと。デメリットに挙げたことには、「子どもが渡さない」「外から確認できない」「兄弟で重複する」「捨てるタイミングがわからない」など。

現状、小学生～高校生の各学齢における学校と家庭のコミュニケーションツールは、ほぼプリント(紙)に集約される。プリント(紙)の優位性は、「ぱっと見てわかりやすい」「記憶に残りやすい」かつ「正確」で「詳細な」情報を共有できること。また、その特性から「子どもの学校での様子がよくわかる」「教育方針や日々の活動がよく伝わる」ことであり、プリント(紙)を通して「親子で会話できる」ことである。

7. 第二回調査概要

- 調査目的：緊急事態宣言やコロナ禍を経験し、学校と家庭のコミュニケーション手段(紙・Web・メール配信)に対し、気持ちや感想に変化があったのかを確認する。
- 調査対象： マクロミルモニタ 女性25～59歳
- 調査地域： 全国
- 調査方法： インターネットリサーチ
- 調査時期： 【事前調査】2020年11月12日(木)～11月13日(金)
【本調査】2020年11月13日(金)～11月14日(土)
- 有効回答数： 【事前調査】20,000サンプル
【本調査】1,030サンプル
- 割付 同居している小学生～高校生の子がいる方

	計	小学1～2年	小学3～4年	小学5～6年	中学生	高校生 (高専生含む)
男児	515	103	103	103	103	103
女児	515	103	103	103	103	103

- 調査実施機関： 株式会社マクロミル
- 備考：
 - ・n=30未満は参考値として掲載
 - ・数表には以下のハッチングを実施(n=30以上のみ)

7. 第二回調査結果

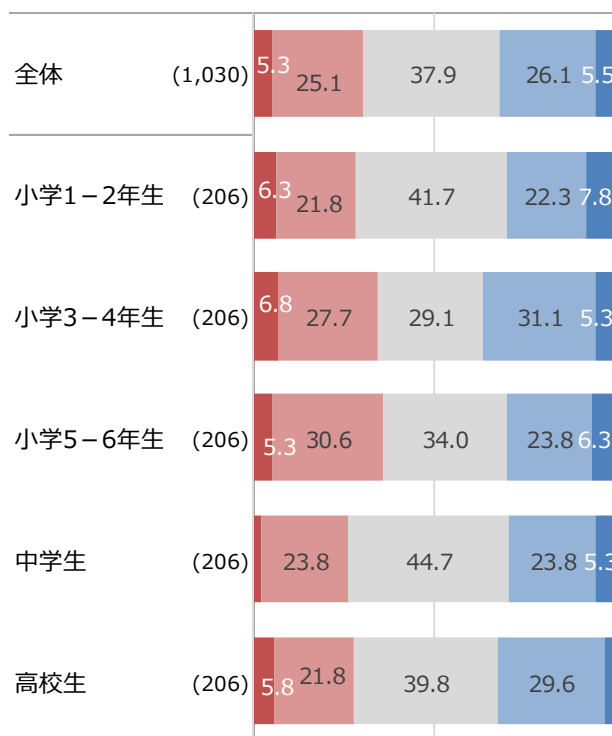
①コロナ禍における学校からの連絡やお知らせの変化

- 連絡事項の頻度は、3割前後が「変化した」と回答。特に小学3年～6年は3割後半で他と比べて高め。
確認する・確認したい媒体は「変化した」が2～3割が回答。

連絡事項の頻度

■ 大きく変化した ■ やや変化した
 ■ どちらともいえない ■ あまり変化していない
 ■ まったく変化していない

0% 50% 100%

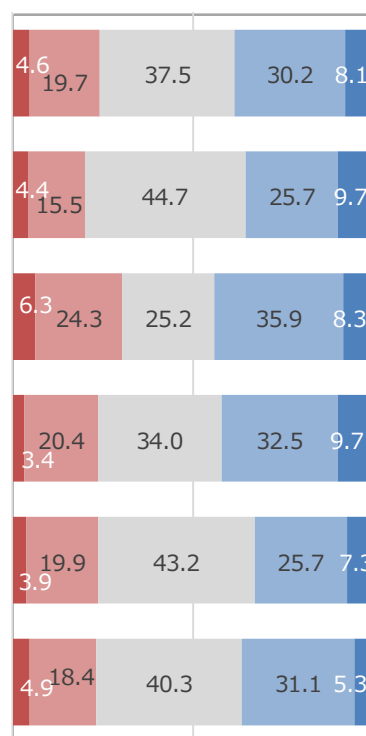


変化した・計
30.5

連絡事項を確認する媒体

■ 大きく変化した ■ やや変化した
 ■ どちらともいえない ■ あまり変化していない
 ■ まったく変化していない

0% 50% 100%

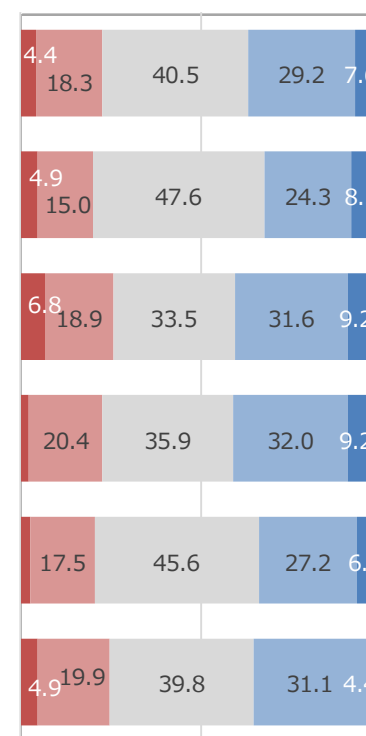


変化した・計
24.3

連絡事項を確認したい媒体

■ 大きく変化した ■ やや変化した
 ■ どちらともいえない ■ あまり変化していない
 ■ まったく変化していない

0% 50% 100%



変化した・計
22.7

※3%未満非表示 Q4.あなたは学校からの連絡やお知らせを、どのようにして確認したいと思いますか。以下のそれぞれについて、お気持ちに最も近いものをお選びください。

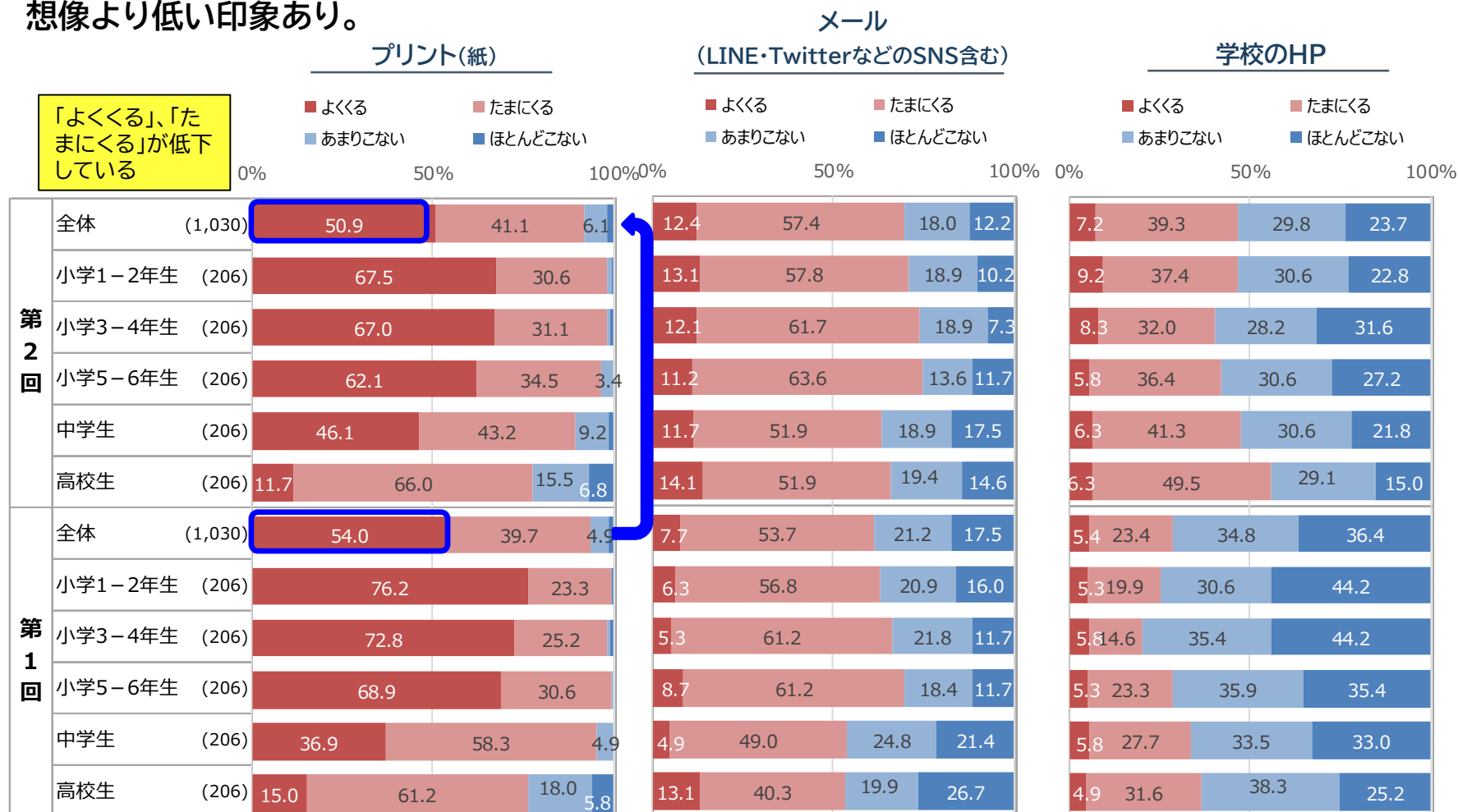
※変化した・計=「大きく変化した」+「やや変化した」

7. 第二回調査結果

②学校からの連絡やお知らせの頻度

—コロナ前後比較—

- 「プリント(紙)」は、「よくくる」が第1回から全学齢で減少(約3%)
「メール(SNS含む)」「学校のHP」は「よくくる」「たまにくる」の割合が第1回から増加しているものの、想像より低い印象あり。



※3%未満非表示

Q1.お子さま(第一子)が通う学校からの連絡やお知らせは、どのくらいのペースできますか。以下のそれぞれについてお答えください。

7. 第二回調査結果

③-1 学校からの連絡やお知らせの確認手段

(プリント・連絡帳)
-コロナ前後比較-

- 「プリント(紙)」は全体としては微減しているものの、第1回と比較すると、「宿題」「緊急連絡」で増加、「部活動」の確認割合では減少。特に、宿題において小学校中・高学年と中学生では増加している。コロナによる休校影響を受け、学習スケジュールの遅延を宿題という形で補ったと推察する
- 緊急連絡は中学校(37.9⇒49.0)・高校(21.4⇒36.4)で大きく伸びているが、コロナ禍前の緊急連絡頻度が少なかったのではないかと推察できる

※全体ベース

プリント(紙)

連絡帳

	小学1-2年生 (n=206)		小学3-4年生 (n=206)		小学5-6年生 (n=206)		中学生 (n=206)		高校生 (n=206)	
		%		%		%		%		%

第2回 第1回

宿題	76.7	75.2	74.3	66.5	75.2	70.4	58.3	54.4	43.2	43.7
通知表・通信簿	91.7	91.3	95.6	88.8	93.2	87.9	92.7	90.8	85.0	88.3
年間スケジュール	94.7	96.6	94.7	96.6	95.6	98.1	91.7	95.6	77.2	85.9
月間スケジュール	95.1	98.5	93.2	97.1	96.1	98.5	89.3	92.2	56.3	65.0
お便り	98.5	99.5	97.1	98.5	97.6	99.0	94.7	99.0	78.6	83.0
給食の献立表	96.6	97.6	96.1	96.6	96.6	97.6	79.6	83.0	8.3	9.7
イベントのお知らせ	98.1	98.5	96.1	99.0	99.0	99.0	95.1	98.5	79.1	87.9
イベントのしおり	95.6	97.1	91.3	96.6	97.1	96.1	88.8	93.7	65.0	71.8
面談や家庭訪問	95.1	99.0	95.6	99.5	96.6	98.5	97.1	99.0	86.9	88.3
部活動	22.8	28.6	31.6	38.8	38.3	47.1	71.8	76.2	41.7	46.1
緊急連絡	39.3	35.0	44.2	33.5	51.5	50.0	49.0	37.9	36.4	21.4
PTA関連	92.2	91.7	89.8	95.1	90.3	94.2	88.3	91.3	63.6	72.3
申し込み書	96.6	97.6	95.6	98.5	97.1	99.5	94.7	97.6	87.4	92.2
保健だより	97.1	98.1	95.1	96.1	96.1	98.1	89.3	94.2	56.3	59.2
集金・支払い	93.2	95.1	92.7	95.6	94.7	96.6	91.3	95.6	79.1	92.2

	小学1-2年生 (n=206)		小学3-4年生 (n=206)		小学5-6年生 (n=206)		中学生 (n=206)		高校生 (n=206)	
		%		%		%		%		%

第2回 第1回

宿題	68.0	71.4	68.9	70.9	57.8	55.3	13.1	12.6	3.4	4.4
通知表・通信簿	5.8	18.0	6.8	7.8	5.8	5.8	2.9	1.9	3.9	2.4
年間スケジュール	5.8	6.3	2.4	1.9	3.9	2.4	2.4	1.5	0.5	1.0
月間スケジュール	5.3	9.7	2.4	2.4	4.4	1.9	0.5	1.0	1.5	0.5
お便り	12.1	21.8	8.3	11.2	10.7	4.9	2.9	1.5	0.5	1.9
給食の献立表	1.9	0.5	0.5	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
イベントのお知らせ	7.3	15.0	8.3	8.3	6.3	6.3	1.5	1.9	0.0	0.5
イベントのしおり	2.4	7.8	3.4	3.4	3.9	3.4	1.5	0.5	1.0	0.5
面談や家庭訪問	7.3	11.7	9.2	12.1	9.2	4.9	2.9	1.9	0.0	1.9
部活動	1.0	1.9	1.5	3.9	4.4	2.9	1.5	0.5	2.4	0.0
緊急連絡	5.3	4.9	3.4	3.9	4.9	2.9	2.9	1.0	1.5	1.0
PTA関連	1.5	1.9	0.5	1.5	2.4	1.5	1.0	1.0	1.0	0.5
申し込み書	7.3	11.7	6.8	8.3	5.3	5.3	2.9	1.5	1.0	0.5
保健だより	0.5	0.5	1.0	1.9	2.4	1.5	1.0	0.0	0.5	1.0
集金・支払い	4.9	11.2	5.8	7.8	6.3	5.8	2.9	1.9	1.5	0.5

Q2.お子さま(第一子)が通う学校からの連絡やお知らせについて、あなたが確認するときに使っているものをすべてお選びください。

7. 第二回調査結果

③-2 学校からの連絡やお知らせの確認手段

(メール・SNS/アプリ・サービス)
ーコロナ前後比較ー

- 第1回同様、「メール・SNS」「アプリ・サービス」では「緊急連絡」の確認が多い。
- 「アプリ・サービス」は全体的に増加。学校向けアプリサービスを急速に進めてはいるが、学校市場全量には浸透しきれていないか？「緊急連絡」は、特に小学5-6年より学齢の大きい子どもで第1回より増加傾向。

※全体ベース

メール・SNS

小学1-2年生 (n=206)		小学3-4年生 (n=206)		小学5-6年生 (n=206)		中学生 (n=206)		高校生 (n=206)		%	
										第2回	第1回
10.2	4.9	10.2	4.4	13.1	6.3	8.7	5.8	14.1	10.2		
2.4	0.5	0.5	0.0	1.9	0.5	2.9	0.5	2.9	4.9		
5.3	1.0	1.9	1.0	4.9	1.9	2.4	3.4	7.8	7.3		
2.9	1.9	0.5	0.5	2.9	1.9	1.9	2.9	6.8	7.3		
11.7	7.8	8.7	5.8	14.1	6.8	7.8	9.7	17.0	14.6		
1.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5		
12.6	7.8	14.1	7.3	18.0	12.1	14.1	9.7	19.9	14.6		
8.3	2.4	3.9	1.9	3.9	1.9	5.3	4.4	9.7	7.3		
5.8	1.5	2.9	0.0	3.4	2.4	4.4	2.4	10.2	7.3		
3.4	1.5	5.8	1.9	7.3	5.8	26.7	19.9	12.6	13.1		
79.6	78.6	81.1	83.0	79.6	83.0	71.4	75.2	57.8	60.7		
25.7	19.4	31.6	19.4	33.5	27.7	27.2	20.9	25.7	20.9		
5.3	1.0	2.9	1.9	5.8	1.9	4.4	1.9	10.2	6.8		
1.0	0.5	0.5	1.5	1.5	1.0	2.4	1.0	3.9	1.9		
12.6	6.3	10.7	4.4	9.2	4.9	11.2	9.2	19.4	11.2		

7. 第二回調査結果

③-3 学校からの連絡やお知らせの確認手段

(学校HP)
—コロナ前後比較—

- 第1回と比べると、「学校HP」での確認は学齢問わず「緊急連絡」で特に増加。
中学生・高校生では、「年間・月間スケジュール」が増加している傾向が見られる。
- 「スケジュール・緊急連絡」が伸びているのは、必要至急のお知らせ確認方法として、学校側が独自でできるサイトを拡充した為ではないかと推察する。

※全体ベース

学校HP

	小学1-2年生 (n=206)		小学3-4年生 (n=206)		小学5-6年生 (n=206)		中学生 (n=206)		高校生 (n=206)		%

7. 第二回調査結果

④希望する確認手段 —コロナ前後比較—

- 第1回と比較すると、希望する確認手段として「プリント(紙)」の割合が全体的に減少(約6%)
一方、「メール・SNS」は全体的に増加傾向。
- ただし、「緊急連絡」のみ傾向が異なり、「プリント(紙)」希望が増加し、「メール・SNS」希望が減少している。

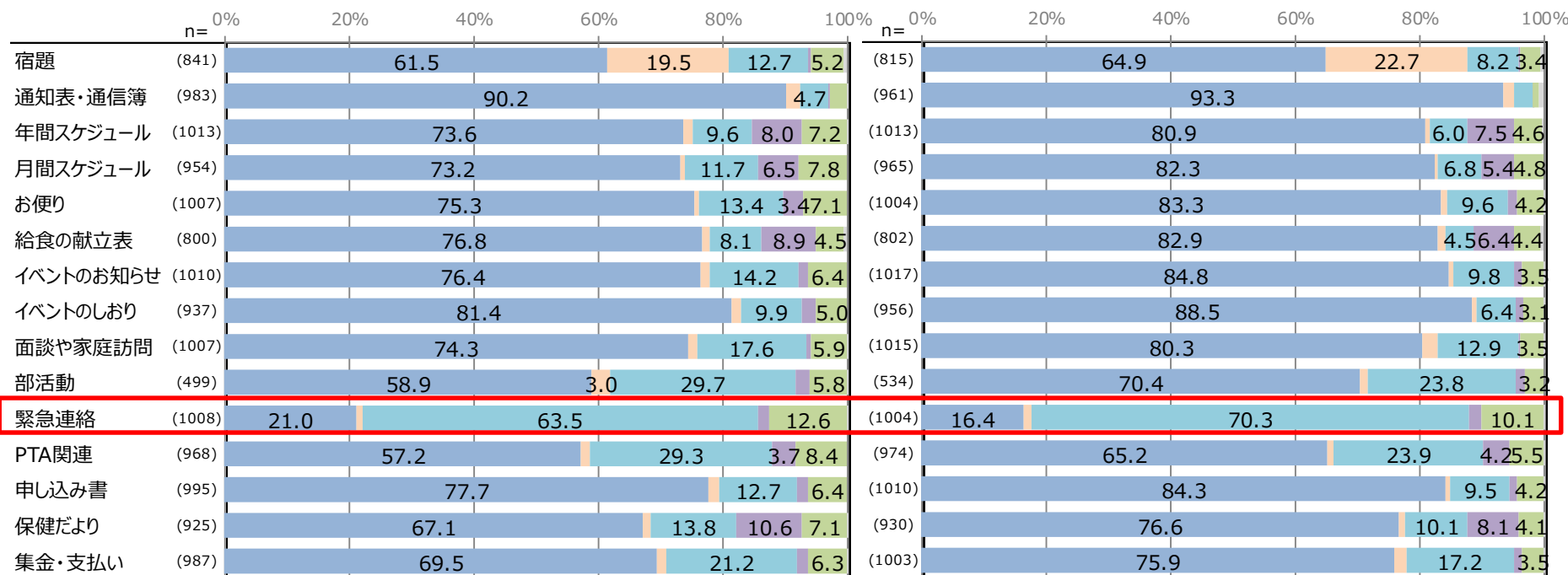
※全体・「確認している／この連絡事項がある」ベース

第2回

第1回

■ プリント(紙) ■ 連絡帳 ■ メール・SNS ■ 学校HP ■ アプリ・サービス ■ その他

■ プリント(紙) ■ 連絡帳 ■ メール・SNS ■ 学校HP ■ アプリ・サービス ■ その他



※3%未満非表示

Q3.あなたは学校からの連絡やお知らせを、どのようにして確認したいと思いますか。以下のそれぞれについて、お気持ちに最も近いものをお選びください。

7. 第二回調査結果

⑤-1 コロナ禍の学校とのコミュニケーションで困ったこと・役立ったこと

- 困りごと・不便に思ったことは、「コミュニケーションが一方的」「親が取りに行くのが大変・面倒」など。
- 役立ったことは、「欠席連絡がアプリ・ネットから可能」「学校のHPの充実」「先生との個人連絡」など。

困ったこと・不便に思ったこと

小学1-2年

- ✓ 紙媒体とメール等の電子媒体の両方を使うと、かえってややこしいので統一してほしかったです。
- ✓ 配布物が多く、見落としがあったりした。
保護者が学校に宿題を取りに行ったり、提出しなければならず、仕事を調整しないといけなかったこと。
- ✓ 休校中の学校からの連絡がメールだったが、こちらから送信することが出来ず不便だった。先生方の勤務状況が分からなかったため、学校に直接電話することに躊躇した。
- ✓ オンライン授業がアプリやGoogleで始まったのですが、すぐにインストールできなかつたり設定がうまくできなかったり大変だった。

小学3-4年

- ✓ 緊急連絡はメールによる連絡の方がありがたいが、警報時の自宅待機など微妙な時の判断が必要な時に、メールだと回線がパンクし、適切に情報が来なかったこともあり、不便を感じた。
- ✓ 休校中に紙でポストに入れられることに違和感を感じた。
すでに手で触った書類を渡されることに違和感を感じた。
- ✓ 気軽にコミュニケーションをとる手段がなかったこと。
学校からはメールが配信されるが、こちらから気軽にメールすることはできない。
- ✓ 学校に電話したくても時間が決まっていて、その時間にかけることができない。
- ✓ 保護者が学校にプリント類を取りに行かなければならなかったため、不便だった。

小学5-6年

- ✓ 先生と会う機会が少ない中で、聞きたいことがあってもわざわざ電話するほどもなく、先生とのコミュニケーションをとるのが難しかった。
- ✓ メールが頻繁に来て、情報が変わることもよくあり、どれが最新の情報だったか管理するのがたいへんだった。
- ✓ 連絡事項をいつもはメールで送っていたのに、ホームページにだけ載っていることがあり、確認が遅くなって困ったことがあった。
- ✓ メールやネットでのやり取りだったのでこまめに確認しないといけなく手間がかかった。
- ✓ 休校中の宿題のプリントを、保護者が学校まで取りに行った。
ものすごい枚数があり、確認するのも大変だった。

役立ったこと

- ✓ 欠席連絡がアプリになってラクになった。
- ✓ 学校のHPを毎日更新してくださり、学校や先生方の様子や自宅学習の仕方など情報を発信してくれて、休校中は毎日子供と見てました。
- ✓ 休校措置が取られた際、先生方から子供達に向けてメールでメッセージが送られてきたのは、子供の励みになって良かったです。
- ✓ 学校のホームページ、導入されているメールシステムが、タイムリーな情報提供システムとして役に立った。
- ✓ 生徒から、学校に電話して先生とお話するというコミュニケーションツールもありました。
- ✓ 欠席する際の連絡が、ネットからできるようになり便利になった。
- ✓ 緊急時や直接聞きたい時は、先生のスマホに連絡してました。
これは良かったです。
- ✓ 休校中は保護者の携帯メールに必要事項をホームページに載せた旨の連絡が入り、ホームページを確認するという段取りで無駄にホームページを閲覧する時間が省けて良かった。
- ✓ しっかりホームページで詳細を載せてくださり、クラスの保護者とも連携を撮ってLINEやメールでコミュニケーションを取れたり、先生から素早く電話対応して下さり、とてもいい小学校だと思います。対応がとても早い学校です。
- ✓ 休校中の学校からの課題の連絡は、学校HPに掲載されており、印刷して使うことができました。
- ✓ 休校中、学校のホームページに クラス毎 担任よりのメッセージが掲載されていて、感動した。ホームページ自体も、掲載更新頻度が増えた。
- ✓ 休校などの連絡はマチコミというアプリでまず連絡がきて、改めてプリントも配られるので、このまま続けてほしい。
- ✓ Zoomといったオンラインで連絡とれるのが良かったと感じている。

7. 第二回調査結果

⑤-2 コロナ禍の学校とのコミュニケーションで困ったこと・役立ったこと

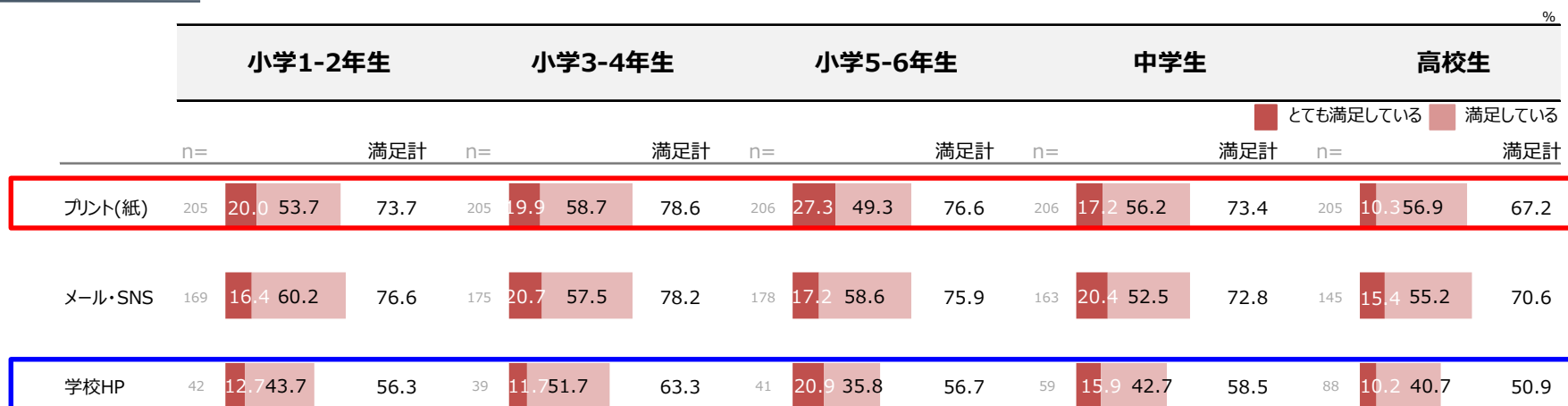
	困ったこと・不便に思ったこと	役立ったこと
中学生	✓ <u>毎日、朝晩、部活の顧問に電話で自主練メニューや活動報告をしなくてはいけなくなったり、ZOOMでのミーティングが始まり、通信料がバカ高くなった。</u> ✓ 提出書類の受け渡しのために保護者が登校する日が決まっていたが、保護者が働いている場合は学校に行くのが大変だと思った。 ✓ プリントに書かれた内容でわかりづらいものや、詳細がよくわからないものがあったときに、わざわざ電話で問い合わせするのをためらってしまった。気軽に問合せできれば不安解消できるのになあと思った。 ✓ <u>アプリのサーバが混んで学校臨時休業の連絡がなかなか見られなかった。</u>	✓ <u>先生とスマホでつながっているので、コミュニケーションにたいして不便を感じなかったです。こどもについて気になっていることは(コロナで休校になる間の過ごし方など)、直接学校や担任のスマホに電話して解決しました。</u> ✓ 役にたったのは、担任の先生の個人のメールアドレスです。聞きたいことがあったときに、学校に電話をして確認するよりも、メールで確認の方が時間帯を気にする必要もなく手軽でした。子供は、オンラインで色々な先生とつながったので、通学していたときよりも質問がいろいろとやすくなってよかったようです。 ✓ 緊急の連絡は遅い時間でもメールならすぐ受け取れるため大変ありがたかった。 ✓ 急ぎで重要なことは学校のHPにすぐにアップされているので何の問題もなかった。
高校生	✓ <u>新しいアプリを使用するよう指示がありましたが、アプリの不備がひどく、使えない状況が続きストレスになりました。</u> ✓ 子供主体になっているので情報が親まで降りてこない状況だったこと。本人が課題をしっかりやれば良いと思うが、それ以外の時間割の配分等は東京都の教育委員から通知されることが多かったので学校からの連絡はあまりなかったように感じた。 ✓ 休校中にやっておく課題がホームページで更新されていたが、更新のお知らせが来ないので友達に聞いて知ったりすることが多かった。 ✓ プリントは子供が出してくれないとわからない。失くされたりすると困る。大事なことはメールで送ってくれるとありがたい。	✓ <u>大切な書類関係の連絡事項はメールでお知らせが着た後に、後日手紙や書類がポスト投函されていたので確実に手元に届き助かった。</u> ✓ 学校からの連絡事項で不明な点や確認したい点があっても問い合わせができないことが多かったので、父兄同士のコミュニティで情報交換することでカバーした。 ✓ アプリから連絡が来るので子どもを通さず直接来て確実に分かり便利である。 ✓ スタディサプリを通じて、休校中は担任と連絡をとっていた。

7. 第二回調査結果

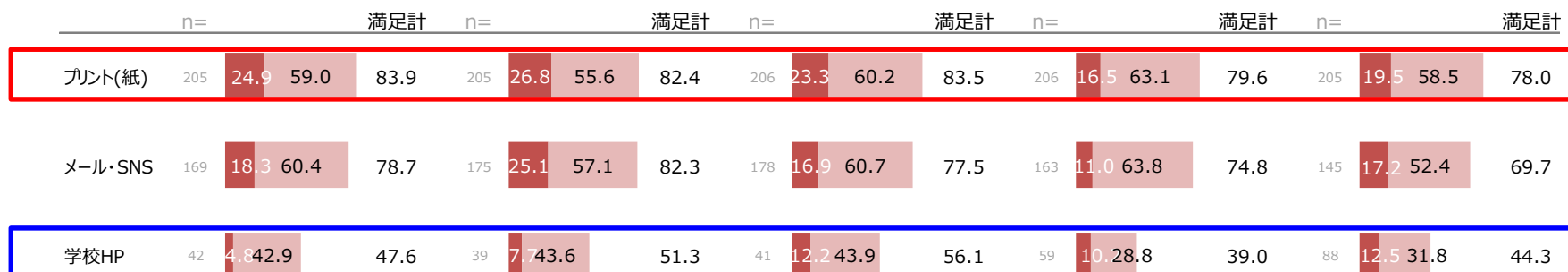
⑥コミュニケーションツールの満足度 – コロナ前後比較 –

- 「プリント(紙)」の満足度(満足計)は、全体的に第1回から減少。特に小学1-2年、高校生では10Pt近く減少。一方、「学校HP」の満足度(満足計)は、第1回から増加傾向。特に中学生で20Pt近く増加。自ら情報を取りに行けるという利便性が受け入れられたのではないかと推察する。

第2回 ※「確認している/この連絡事項がある」ベース



第1回



Q6.学校からの連絡やお知らせが、「プリント(紙)」「メール」「学校のホームページ」で届くことについておうかがいします。それぞれの連絡方法について、総合的にどのように感じていますか。お気持ちに近いものをお選びください。

7. 第二回調査結果

⑦コロナ禍で「プリント(紙)」がよいと思うもの

- コロナ禍で人とのつながりが希薄な中でプリントの「あたたかみ・紙ならではの良さ」が再認識もされている様子。
「授業参観等が人数制限・中止のため様子を知りたい」「コロナ関係の細かい連絡を確実に確認したい」等も。

小学1-2年	✓ <u>例えば授業でこんなことをしています、と写真付でお便りがきたり、そこに担任の先生の想いが書いてあると温かみが感じられ、子ども達の学校での頑張りがよく伝わってくる。</u> ✓ <u>やはり紙でしか伝わらない良さがあると思う。</u> ✓ 参観日なども減る中、子供の学校での様子がわからないので毎週学校での様子を伝えてくれるので安心できる。 白黒写真付きで学級だよりを週1出してくれるので学校の様子がわかって嬉しい。 ✓ <u>コロナにかかわらずプリントは、子供がプリントをもらって親に届けるという責任を果たす上で重要だと思う。親子がコミュニケーションを取る役割もある。</u>
小学3-4年	✓ 臨時的な休校日や登校日や、長期休みの変更などは特に確実に確認できるように紙の方がいいのかなと思う。 ✓ 先生からのメッセージ。実際に今年度、先生と顔を初めて合やすのが大分遅かったが、プリントで自己紹介や写真など、配られて、子供も嬉しそうに何度も見返していた。 ✓ コロナ禍だから先生に会う機会も少ないが、紙で子供の様子を毎週沢山書き込んでくれるので様子が分かり安心する材料になっている。 ✓ <u>授業参観や学習発表会の人数制限が設けられる事が多いので(一家族1人しか見に行けない)、学校での行事などの様子がわかるので大変嬉しい。</u> ✓ 写真やイラスト、文章(先生のコメントなど)を一度に見ることができるプリントは、学校の雰囲気や先生の気持ちを視覚的に伝えてくれるので、コロナ禍だからこそ良いと思います。
小学5-6年	✓ <u>重要な連絡はプリントの方がメールなどよりもしっかりと読み込むのでこのままプリント連絡は継続してほしい。</u> <u>冷蔵庫に張っておけば、日時なども何度も確認しやすいし、メール受信をしている母親(私)だけでなく、旦那や子供自身も確認しやすい。</u> ✓ 行事関係は様変わりして、参観が出席番号で区切られていたり、宿泊行事に関しても厳しい取り決めがあったり、保護者も何度も確認したくなることが多いので、プリントでいただいて、冷蔵庫など目につくところに貼っておけるのはありがたいと思いました。 ✓ 授業参観が中止になったので、先生とのコミュニケーションもとれず、子ども達の様子が分からないので、写真を織り混ぜての子ども達の様子があるといいなと思う。
中学生	✓ <u>感染者が増えたりすると、その度に学校での対応が変わるので、プリントにしてもらえると変わった事が直ぐにわかる。ホームページやLINEだと見過ごしてしまう可能性がある。</u> ✓ 学校のコロナ対策がどの様にされているのか、家庭での注意点などを記載したプリントを子供と一緒に読める様なものを作ってほしい。 ✓ 我が家の場合は、私(子供の母)が元気なときは学校のメールもホームページも確認できますが、もし具合が悪くなったり、入院というときには学校からのデジタルの情報を受け取ることが難しいので、紙で配ってもらえると、夫も読めるのでありがたいです。 ✓ コロナに関する情報(罹患したときの対処法や気を付けるべき注意事項)などは長期間目につくところに貼っておきたいので、紙の方がよい
高校生	✓ 重要なものだけはプリントがよい。例えば受験に関することなど。 ✓ プリントでは、学校行事の様子など、個人特定を配慮しつつ、写真掲載されており、それを見ることで学校での様子がわかる。メールだと、画像添付されることはないから。それにメールだと、無味乾燥な感じが強い。 ✓ コロナ関係は、細かいお知らせが多いので、プリントで書かれていた方が見やすいし、確認しやすい

7. 第二回調査結果(まとめ 1/2)

コロナ禍における学校からの連絡事項の確認手段の変化

- ☒ 学校からの連絡事項の大半はプリント(紙)で確認されている点は第1回と同様。休校中であっても先生が各個人の自宅にポスティングするなどしていたため、コロナ禍によって、プリント(紙)での確認が大幅に減るような変化はない様子。
- ☒ 確認したい手段として、プリント(紙)が減少し、メール・SNSの割合が増加。ただし、「緊急連絡」のみはメール・SNSが減少し、プリント(紙)が増加と逆の傾向に。コロナ禍で休校連絡などの「緊急連絡」をメール・SNS等で確認する機会が増える中で、プリント(紙)であれば見落とさないからといった意見も自由回答においてみられた。
- ☒ プリント物の希望割合は全体的に減少の事実であるが、総量的な評価でいうと希望75%が69%(▲6P)に減少しただけでプリント物への期待は大きく減っていないと推測する
- ☒ 緊急連絡でプリント物が増えた理由は、単一媒体より複数媒体で周知を希望されている自由回答もあった。潜在的に「紙もあつたらよい」という意識が現れたのではないかな？

7. 第二回調査結果(まとめ 2/2)

コロナ禍におけるプリント(紙)の役割

-  コロナ禍で人とのつながりが希薄な中で、プリント(紙)の「あたたかみ・紙ならではの良さ」が再認識もされている様子がみられた。プリント(紙)では、「子どもたちの様子が直接見れる授業参観等が人数制限・中止のため様子を知りたい」・「コロナ関係の細かい連絡を確実に確認したい」等の意見があがった。
-  一方で、直接触れ合うプリント(紙)に対して、「感染リスクが怖い」といったマイナスの声も聞かれた。またコロナは特に関係なく、プリント(紙)のメリット、デメリットで意見がわかれる様子。
-  その他の意見
 - ・見やすさ(家族全体で共有)
 - ・保存性、閲覧性(家庭内掲示や貼り出し)
 - ・先生の手書き、情熱を感じる
 - ・預かったものを届けるという教育とコミュニケーション
 - ・情報が省略(簡略化)されない
 - ・電子媒体は情報過多、情報混雑がある。「電子媒体ときどき紙」がホッとするし、目にも良い

コロナ禍において、休校中などの緊急時の対応も学校によって対応が分かれる様子だが、大半がデジタル化にはまだまだ対応できず、プリント(紙)がコミュニケーションツールとして大半である様子。ただ確認したい手段としては、メール・SNSの割合が増加してきている。

プリント(紙)の役割として、人とのつながりが希薄な中でのあたたかみ・紙ならではの良さを再認識もされる一方で、直接触れ合うことから感染リスクといった観点からの懸念もみられた。

新しくわかった事実やニーズ

【家庭側のニーズ】

学校と家庭のコミュニケーションツールとしては、コロナ禍である現在も「プリント(紙)」希望が多く、学校の様子や日々の活動を知るためには有効な手段であることが認められた。

合わせて、「プリント(紙)」は学校と家庭のコミュニケーションだけでなく、家庭内でのコミュニケーションとしても一役を担っていることも認められた。

「プリント(紙)」を希望するアイテムにおいて学校・学年・クラス単位での大量プリントは、高い生産性(高速・低ランニングコスト)と幅広い通紙性能を備えた「デジタル印刷機」を活用することで、更に学校と家庭のコミュニケーションが円滑になり、忙しい教育現場(先生)の効率化・省力化の面でもお役立ちいただけるという事をあらためて確認する事ができた。

具体的なアイテム例

- 年間スケジュール、月間スケジュール
- お便り
- 給食の献立表
- イベントのお知らせ、イベントのしおり
- 部活動 など

“デジタル”は『視覚』情報に対して、
“紙”は『五感』を刺激し働きかける情報。
※見て、嗅いで、触って、記憶に残る

デジタルの進化とは逆行する面があるが、“紙”の価値は「所有欲を満たす」、「機能性」、「伝える力」、「感動」という点で、学校と家庭のコミュニケーション力を高めるツールとして、優位性があると認められる。

完

ご清聴ありがとうございました。

付録:通学先(国公立)

